

# 第107回経営協議会議事要録

日時 令和3年9月28日（火）13時30分～15時20分

会場 大学本部棟5階 第1会議室

出席者（委員）

丸茂、赤澤、奥村、北島、佐山、青柳、進藤、飯野の各委員  
島田学長、清水理事、中村理事、松川理事、熊田理事、榎本理事、風間理事

（列席者）

市川理事、齋藤監事、八巻監事、黒澤副学長、茅副学長、志村特命部長、石原総務部長、  
松元財務管理部長、池田施設・環境部長、窪田教学支援部長、渡邊研究推進部長、  
野中医学域事務部長、  
加勢地域人材養成センター支援課長、中村監査課長、石井総務課長、仲野財務管理課長、  
田村施設企画課長  
海老名総務課課長補佐

議事要録確認

第106回（3.6.25開催）の経営協議会議事要録を確認した。

島田学長から、本学の新型コロナウイルスワクチン接種の対応状況等について報告があった。

審議事項

1 自己点検・評価（令和3年度中間評価等）の実施（案）について

清水理事から、資料1により、令和3年度の自己点検・評価の実施について、「第3期中期目標期間における自己点検・評価基本方針」に基づき、例年と同様に中間評価と期末評価を実施する旨説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、令和4年度当初に、第3期（H28～R3）6年間の自己点検・評価結果等をもとに各実績報告書の作成作業を、別途依頼する予定である旨併せて説明があった。

2 令和3年度国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書（案）について

松川理事から、資料2により、本法人はガバナンス・コードの目的・意義を実現するため、適合状況等を定期的に点検し、社会に公表することが求められており、関係部署と調整のうえ、監事の確認を経て、令和3年10月1日を基準日とした今年度の報告書等を作成した旨説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、今後、修正等があった場合は、学長に一任することとし、10月末までに本学ホームページへ公表する旨併せて説明があった。

3 国立大学法人山梨大学ネーミングライツ事業規程の制定（案）について

熊田理事から、資料12により、本学が保有する資産等の有効利用を通じ、自己収入を拡大するとともに、本学の教育研究環境の向上を目的とし、本学が保有する施設等に対するネーミングライツ事業に関して標記規程を新たに制定することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

- ・ 国立大学法人山梨大学ネーミングライツ事業規程

報告事項

1 第3期中期目標期間（4年目終了時）に係る業務の実績等に関する評価結果について

清水理事から、資料4により、国立大学法人評価委員会及び大学改革支援・学位授与機構から、標記評価結果が通知・公表されたこと及び評価結果の概要について報告があった。

〔中期目標の達成状況〕

- ・ 7項目が「順調」、1項目が「おおむね順調」となり、「教職大学院における学生定員の未充足」が改善すべき点として挙げられた。

#### 〔教育研究の状況〕

- ・「中期目標の達成状況」について、1項目が「優れた実績を上げている」、その他の項目が「進捗している」との評価であった。学部・研究科ごとの「現況分析」については、2項目が「高い質にある」、その他の項目が「相応の質にある」との評価であった。

なお、本評価結果はあくまで4年目終了時の暫定の扱いであり、最終結果は本年度までの取組が評価されるため、他大学において優れた点として取り上げられている取組や改善すべき点とされた指摘事項を参考にするなどし、各種取組において工夫等していききたい旨の説明があった。

#### 2 令和4年度概算要求の状況について

熊田理事から、資料5により、国立大学法人運営費交付金等の構成及び概要、ミッション実現加速化経費（仮称）、機能強化経費（組織整備）からの組替分及び特殊要因経費として文部科学省から財務省に概算要求された事項について報告があった。

#### 3 令和4年度 施設整備概算要求の状況について

熊田理事から、資料6により、要求した一般事業6件の評価結果（S評価3件、A評価1件、C評価2件）及び附属病院事業1件の評価結果（S評価）について報告があった。

#### 4 「山梨大学 SDGs」の掲載について

熊田理事から、資料7により、本学のSDGsに関する教育研究活動や取組等を紹介するため、HPを整備し、10月1日（金）より公開予定であること、本学が山日YBSグループ創業150周年企画「やまなしSDGsプロジェクト」に推進パートナーとして参画していることについて報告があった。

報告事項5～8（資料8～11）については、新型コロナウイルス感染症防止の観点（会議時間短縮）から、説明を省略して各自確認することとし、意見等がある場合は、担当理事等に連絡願うこととした。

- 5 教育研究評議会の開催状況について（資料8）
- 6 役員会の開催状況について（資料9）
- 7 令和2年度財務諸表の承認等について（資料10）
- 8 （一社）大学アライアンスやまなしの活動状況について（資料11）

#### 懇談事項

##### 1 外部有識者との意見交換実施状況について

島田学長から、机上配付資料1により、外部有識者との意見交換に係る内容要旨について、報告があった。

##### 2 新型コロナウイルス感染症への対応について

島田学長から、机上配付資料2により、本学における令和3年6月以降の対応状況等について、報告があった。その後、学外委員を交えて活発な議論が行われた。

次回会議 令和3年11月25日（木）13時30分から開催することを確認した。

## 学外委員からの意見等

### 審議事項

#### 3 国立大学法人山梨大学ネーミングライツ事業規程の制定（案）について

（佐山委員）

山梨の代表的な企業等への照会、新聞広告等での募集を実施するにあたり、山梨大学内でどの建物等がネーミングライツ事業に向いているか確認する必要がある。

（島田学長）

本学の建物等を検証・確認したい。

### 報告事項

#### 4 「山梨大学 SDGs」の掲載について

（丸茂委員）

山梨県、各市町村、経済界、山梨大学及び山梨県立大学等が取り組みを行っているので、山梨県内の SDGs の取り組みは順調に進んでいるが、今後、更なる認知度の向上が必要である。

（八巻監事）

本学HPの内容について、SDGs の 17 のゴールから本学の取り組みを見られるような設計とすること、大学本部・大学内部で行っている取り組みが見られるように工夫することが必要である。

（熊田理事）

大学HPの設計を工夫するなど認知度を高めていきたい。

### 懇談事項

#### 2 新型コロナウイルス感染症への対応について

（奥村委員）

附属病院で新型コロナウイルス感染症患者の受入に伴う補助金制度があるが、新型コロナウイルス感染症対策用の病床を用意して、患者が入院しなかった場合（空床）、補助金は出ているのか。

（榎本理事）

新型コロナウイルス感染症対策用の病床を確保している場合は、入院患者が入らなかったとしても補助金の対象となっている。

（北島委員）

新型コロナウイルス感染症対策用の病床を準備しても補助金により病院は赤字にならないが、一般病床を維持することが難しい。危機対策の際、緊急で対応にあたることができる医師等を確保しておくことが必要である。

また、ワクチンについて、100%の安全性を求める報道があるが、科学的に100%の安全性は不可能であるため、報道のあり方の検討が必要である。

（奥村委員）

ワクチンを接種した場合、効果が薄い場合や死亡する場合もあるが、どのような方が効果が薄れたり、あるいは死亡したりするのか調査（死因究明）が必要である。

日本では新型コロナウイルス感染症で死亡したとされる場合解剖を行っていない。そのため、死因の特定ができず、調査もできていない状況である。

（飯野委員）

ワクチン接種時の反応について、調査をしてほしい。ワクチンは、新型コロナウイルス感染症対策として効果が大きいので、その必要性を今まで以上にアピールしてほしい。

（島田学長）

死因究明のための解剖が必要であることは認識しているが、様々な課題がある。